

関連項目：教育活動プラン④

地域の教育力を活かした心の育成

目的

地域の優れた人材・施設と連携を図ることで地域の教育力を有効に活用し、ふるさとを知り・ふるさとを愛する心の育成を図る。

内容

● 授業・クラブ活動で

地域のボランティアによる出前授業（1年：昔の遊び 2年：野菜作り 3年：昔の道具 4年：おはぎを作り独居老人宅訪問 5年：種まきから蕎麦打ちまでの蕎麦作り体験 6年：埋蔵文化財センターとの土器作り）を各学年とも実施し、様々な体験活動や交流が図れた。

また、クラブ活動ではカヌー、川柳クラブで安全かつ専門的知識・技術の指導を継続的に受けている。

● 地域行事への参加

地域の様々な行事（清掃活動、府中湖水のフェスティバル、ドラゴンカヌー大会、福祉の集い、ボランティア活動等）に参加し交流が図れた。

学校からも積極的に情報発信を行っている。ホームページを毎日更新し、地域からの理解が深まっている。月1回の学校だより「国府の里」を地域の家庭1,600世帯に配布している。また、学級だよりは、どの学級も定期的に発行し、学校の様子を詳しく知らせることで家庭との連携を深めることにつながっている。



● その他



登下校、授業、学校行事、学校環境、休日、長期休業日など、あらゆる場面で多くの団体（15～20）や地域の方、ボランティアの方々にお世話になっている。

写真は平成4年から実施している「コスモスの道」で咲いた花を異学年交流で鑑賞している様子である。種まき、水やり、刈り取り、種取などの世話は児童が行っているが、草刈り・整地・夏休みの水やり等は地域の方が助けて下さっている。お世話になった全ての方々を招いた「ありがとう集会」を開いて感謝の気持ちを伝えている。

成果

アンケートから、故郷に誇りを持っていると答えた児童は85%、保護者から見て子どもはすすんで地域行事に参加していると答えたのが81%を超えている。さらに機会ある毎に授業公開・学校行事で来校された方々や学校評価委員からも90%以上の高い評価を得ている。

